

いちめんのなのほな

令和2年1月15日(水)
校長 鈴木 誠



明るい表情と前向きさが印象的な加藤様

ボッチャ体験教室 1月14日(火) ～5年生 総合的な学習の時間～

2012年ロンドンパラリンピック出場の加藤啓太様(脳性麻痺重度障がい)を講師に、ボッチャ体験教室を5年生が受講しました。加藤様の御家族や講演補助の方をはじめ、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、名古屋法務局、岡崎と豊橋の人権擁護委員協議会からも多くの方に御来校いただきました。

加藤様には「1%の可能性がある限り、どんな障害があっても挑戦する」の演題で、ユーモアを交えながら、生活するのも挑戦の連続であること、無理と言われた大学進学をあきらめずに実現できた理由、あきらめないでやり続けることの大切さなどを話していただきました。最後に、自分で選んで決めるからこそ楽しい、起きたことは「すべて自己責任」、今から未来は変えられるなどのメッセージをいただきました。

講演の後は、6チームに分かれてボッチャを体験。勝った3チームがそれぞれに加藤様に挑戦。大きなハンデにもかかわらず3つの代表チームのすべてが負けてしまいました。競技者同士の真剣勝負を展開したり、パラリンピアンの実力を垣間見たりすることができました。

最後に、児童代表の杉浦さんが「障がいがあっても人であることはかわらない。挑戦し続けることが大切だということ学びました」とお礼の言葉を述べました。

学区にお住いで岡崎人権擁護委員をお務めの碧海和子様のお尽力なしでは、本教室は実現しませんでした。心より感謝いたします。



新春竹馬大会 1月12日(日)

六ツ美中部学区子ども会と子供育成者連絡協議会主催の六ツ美中部学区新春竹馬大会が開催されました。

選手リレーの部で速さを競い、竹馬サスケで個人の技量を発揮したり何度も挑戦したりした子供たち。竹馬サスケでは多くの子供たちがレベル3と5に苦戦しましたが、何度も挑戦する姿が素晴らしいと思いました。また、一緒に観ていた同窓会長さんが「あの子は隣の子で、おじいさんによく教えてもらっていたよ」と話して

くださり、お互いを温かく見守る本学区の素晴らしさをあらためて実感しました。また、立派に主催者あいさつをした子ども会会長の田坂さんをはじめとして、開閉会式を子ども会の役員を務める子供たちによって進行するところも素晴らしいと思いました。

この日のために計画や準備をしたり、早朝より0度近い運動場で準備をしたりして、子供たちのために御尽力してくださった皆様、また、子供たちを見守るために会場に足を運んでくださった学区社会教育委員の皆様、心より感謝いたします。



代表委員主催 全校レク「けいどろ」 1月9日(木)

前日の強風や雨が嘘のように、穏やかな天候に恵まれて、代表委員が主催して全校レクリエーションとして「けいどろ」を実施しました。

始業式直後から代表委員の子供たちは打ち合わせで、この日を迎えました。そのおかげでしょう、5分間の追いかけてっこを2度行い、けがなく集合から解散までを15分間で実施することができました。



代表委員の説明に耳を傾ける子供たち



追うも笑顔、逃げるも笑顔

学年の枠を越えて、追いかけてたり声を掛け合ったりする子供たちの姿があちらこちらにありました。卒業を意識し始める6年生の子供が増え、5年生が学校の担い手を意識し始めているこの時期だからこそ、全校が交流したり、代表委員が運営する様子を子供たちが目にしたりすることは、とても意義深いことです。

レクの終わりを告げる代表委員長の山口さんの言葉に続いて、全校から自然と拍手が沸き起こったことも素晴らしいと思いました。

保健指導～正しい手洗い～

身体測定の際に

新学期を迎え、全校生徒の身体測定を行いました。その際、養護教諭が正しい手洗いについての指導を実施しました。参観した6年1組の場面では、昨年末のようなインフルエンザへの感染拡大などを防ぎたいとの思いを子供たちももてているように思いました。

外出から帰ったら手洗いとうがいを励行するなど、インフルエンザへの感染等の予防にお努めください。



「今の手洗いはどこがいけなかったかな」



「跳べるようになったよ」

登校すると友達と誘い合って、運動場でサッカーや縄跳び、遊具広場でブランコやジャングルジム、どんなに寒い朝も、校庭には子供の姿があります。

「二重跳びが一回跳べるようになったよ。見て」と見事な技を見せてくれる1年生の女の子。負けじと挑む周りの子供たち。自分を高め、競い合えるたくましい心が素晴らしいと思いました。縄跳び大会を楽しみにする子供も多いようです。六ツ美中部の子供たちが、ますます運動だいすきになることを願っています。

手ごたえと悔しさ～バレーボール部～ 1月11日(土)

バレーボール部が愛知県小学生バレーボール新人大会西三河支部大会に臨みました。新チームの初陣ということで緊張していましたが、次第に練習の成果が発揮されました。第1セットを逆転でとり、第2セットを僅差で落とす大接戦。最終セットの第3セットはリードして折り返しましたが、惜敗。

相手の攻撃を何度もレシーブして相手に返すなどの粘り強い様子に確かな手ごたえを感じました。一方で勝ち切る難しさも感じました。手ごたえと悔しさを糧にさらなる精進することを期待します。

